

令和6年度  
管理職等研修の概要



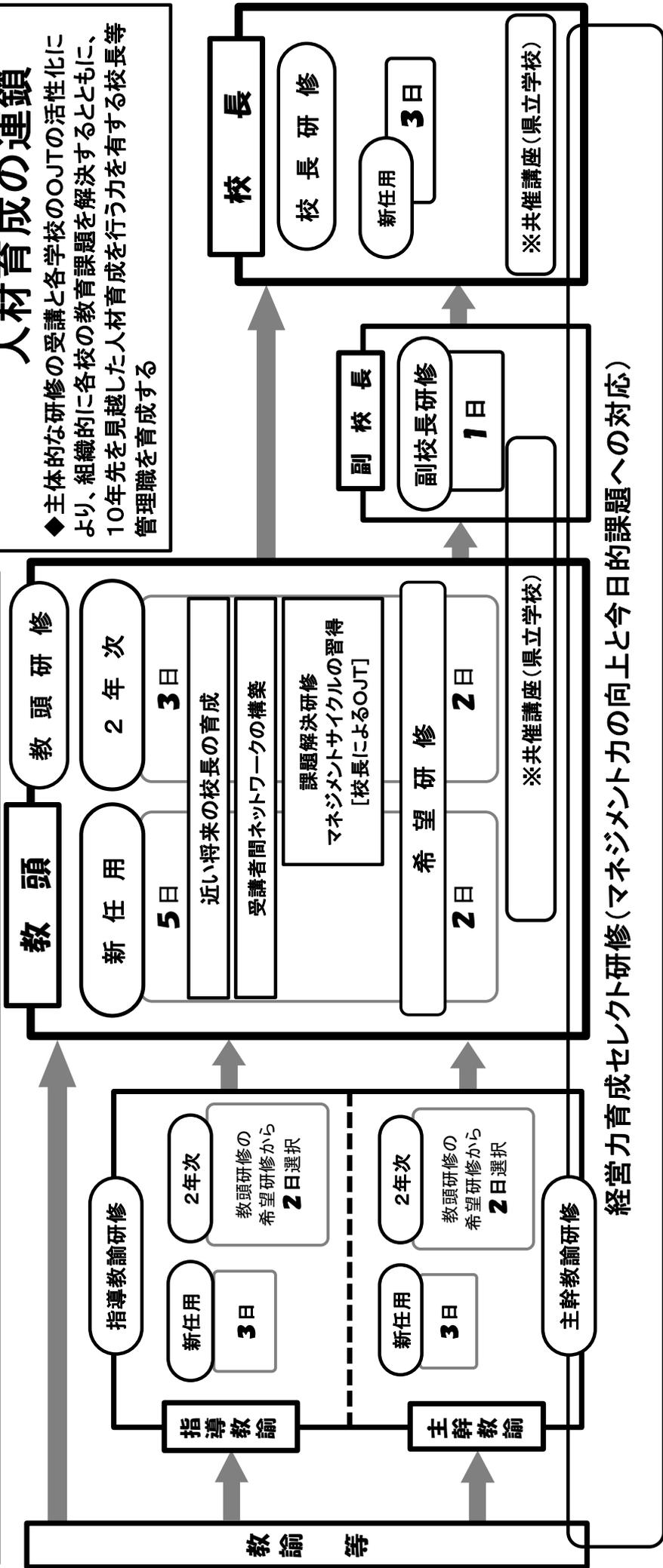
高知県教育センター

## 目 次

・ 管理職等研修体系	.....	1
・ 高知県教員育成指標と管理職等研修との関連性	.....	2
・ 研修受講にあたっての留意点	.....	5
・ 研修講師のプロフィール	.....	6
・ 研修内容（各研修の実施要項等）		
<u>基本研修</u>		
[研修番号]        [研修名]		
301        新任用指導教諭研修	.....	9
302        任用2年次指導教諭研修	.....	11
303        新任用主幹教諭研修	.....	12
304        任用2年次主幹教諭研修	.....	14
305        新任用教頭研修	.....	15
306        任用2年次教頭研修	.....	19
307        新任用副校長研修	.....	23
308        新任用校長研修	.....	25
311        経営力育成セレクト研修	.....	28
<u>課題解決研修</u>		
任用2年次教頭研修 課題解決研修	.....	32
・ 高知県教育センター研修参加者旅費コード一覧	.....	44
・ 欠席届等 [参考様式]	.....	45
・ 教育センター等の利用について	.....	48

### 管理職等研修体系:

主幹教諭から校長まで段階的・体系的にマネジメント力の強化を図る、学校組織マネジメントと人材育成を柱とするプログラム



### 教育課題の解決と人材育成の連鎖

◆主体的な研修の受講と各学校のOJTの活性化により、組織的に各校の教育課題を解決するとともに、10年先を見越した人材育成を行う力を有する校長等管理職を育成する

#### 【指導致諭研修・主幹教諭研修】〔2年間〕

- 新任用・2年次の2年間で5日間の研修
- 2年次は教頭研修の希望研修(新任用2・6、2年次3・4)から2日選択して受講
- キャリアア या ニーズ に 応 じ 経 営 力 育 成 セ レ ク ト 研 修 の 全 講 座 ( 校 長 研 修 の 一 部 を 除 く ) を 受 講 可 能

#### 【教頭研修】〔2年間〕

- 新任用・2年次の2年間で指定研修8日、希望研修4日
- 希望研修については、自身の力量や経験等から判断し、校長に相談のうえ、受講を決定
- キャリアア や ニーズ に 応 じ 経 営 力 育 成 セ レ ク ト 研 修 の 全 講 座 ( 校 長 研 修 の 一 部 を 除 く ) を 受 講 可 能
- 自校で学校組織マネジメントの実践(校長によるOJT)を通して学ぶ「課題解決研修」を2年次に実施

#### 【副校長研修】〔1年間〕

- 新任用時に1日の研修

#### 【校長研修】〔1年間〕

- 新任用時に3日間の研修

# 高知県教員育成指標「指導教諭・主幹教諭」と管理職等研修との関連性

		指導教諭	主幹教諭			研修内容																	
							A	B	C	D	E	F	G	H									
A 資質	求められる 資質・能力	高い専門性と優れた指導力を身に付け、授業力の向上に向けて、研修・研究等の取組を全校的に推進することができる。		命を受けた校務について、責任をもって取りまとめるとともに、教頭の代理や補佐を行い、調整能力を発揮して組織運営を活性化させることができる。		新任用 指導教諭 研修・ 新任用 主幹 教諭 研修																	
	①	教育に関する理念や価値観を醸成する態度がある。	①	教育に関する理念や価値観を醸成する態度がある。	1										学校組織マネジメント概論								
	②	教諭等のリーダーとしての自覚と使命感をもっている。	②	命を受けた校務を自覚し、遂行する使命感をもって責任を果たすことができる。	1										コーチング								
	③	教育に関する新しい動向を吸収し、教科や授業の専門性の向上に積極的に努めることができる。	③	教育に関する新しい動向を吸収することができる。	1										特別支援教育の理解について								
	④	児童生徒・保護者・教職員に対して、誠実に対応することができる。	④	児童生徒・保護者・教職員に対して、誠実に対応することができる。	2										教職員がチームワークを生み出す学校づくり(ミドルリーダー論)								
B 組織 マネジメント	⑤	授業や学級経営等において教職員の模範となり、信頼を得ることができる。	⑤	命を受けた校務を推進し、教職員から信頼を得ることができる。	2	学校安全 ～命と心を守るために教職員はどう取り組めばいいのか～																	
	⑥	学校経営ビジョンを踏まえ、教職員の意向や状況を管理職と共有し、取組を進めることができる。	⑥	学校経営ビジョンを踏まえ、教職員の意向や状況を管理職と共有し、調整を図りながら取組を進めることができる。	3	学校組織マネジメント(実践交流)																	
	⑦	PDCAの考え方にに基づき職務に取り組むことができるよう、教職員に対して指導・助言をすることができる。	⑦	PDCAの考え方にに基づき職務に取り組むことができるよう、教職員に対して指導・助言をすることができる。	3	深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント																	
	⑧	学校のデジタル化や業務の効率化・削減の取組について、校内体制の改善・充実を図り、業務改善を推進することができる。	⑧	学校のデジタル化や業務の効率化・削減の取組について、校内体制の改善・充実を図り、業務改善を実践するとともに、教職員に対して指導・助言をすることができる。																			
	⑨	教科等横断的な視点で、自校の教育活動をとらえることができる。	⑨	教科等横断的な視点で、自校の教育活動をとらえることができる。																			
C マ ネ ジ ン グ ・ リ ス ク マ ネ ジ ン グ	⑩	教科等における高い専門性と優れた指導力に基づき、教職員に対して指導・助言をすることができる。	⑩	児童生徒の姿や地域の現状等を把握するために、関連の調査や各種データを収集することができる。	1	人権教育と生徒指導																	
	⑪	自校のICT環境等、学校内外の資源を効果的に活用し、授業研究等をコーディネートするとともに、教職員に対して指導・助言をすることができる。	⑪	自校のICT環境等、学校内外の資源を効果的に活用し、校内研修(研究)の運営に、指導・助言をすることができる。	1	LGBTQ+の理解と支援																	
	⑫	児童生徒の健康・安全管理を適切に行うことができる。	⑫	児童生徒の健康・安全管理を適切に行うことができる。	2	デジタル社会における学校組織マネジメント(働き方改革)																	
	⑬	突発的な事態や災害時に、教職員がまとまるように日頃から声かけをしたり、相談相手となったりすることができる。	⑬	突発的な事態や災害時に校長等の指示を受け、教職員をまとめることができる。	2	Society5.0時代に求められる教育～あるべき学校マネジメントとは～																	
	⑭	児童生徒の個別の課題に応じた支援等を率先して行うことができる。	⑭	学校で生じるであろう種々の危機事象を想定し、それらに対応できるよう情報収集を行うことができる。	3	特別支援教育(発達障害と二次障害)																	
D リ ス ク マ ネ ジ ン グ	⑮	児童生徒の個別の課題に対して校長等を補佐し、支援を推進することができる。	⑮	校長等を補佐し、校内外の連絡、情報共有を図ることができる。	3	ファシリテーションを活用する ～学校・学級経営から普段の会議・授業づくりまで～																	
	⑯	保護者や地域の人々に、学校の教育活動を知ってもらうために積極的に働きかけることができる。	⑯	地域等にある人的資源や物的資源等を把握して学校教育の活動とつなぐことができる。	4	OJD活性度診断																	
	⑰	教育活動の改善に向けた校内研修(研究)について、研究主任等と協力して推進することができる。	⑰	校種間・学校間連携についての計画を立案することができる。	4	時代の変革に伴う学校改善・授業改善																	
	⑱	授業や学級経営に関して、教職員の相談に積極的にのったり指導・助言したりすることができる。	⑱	教職員の育成を図るために校長等を補佐し、校内指導体制を運営することができる。																			
	⑲	授業や学級経営等について、専門的な指導・助言をすることができる。	⑲	学校の教育活動をより効果的に達成するために教職員に対する適切な指導・助言をすることができる。																			
E メ ン ト 等 マ ネ ジ ン グ	⑲	教科や授業等について、専門的な指導・助言をすることができる。	⑲	教職員同士が学び合う仕組みづくりを行うとともに、指導・助言をすることができる。																			
	⑲	校長の掲げるワーク・ライフ・バランスの取組に基づき、業務改善に積極的に取り組むことができる。	⑲	校長の掲げるワーク・ライフ・バランスの取組に基づき、業務改善に積極的に取り組むことができる。																			
	⑲	校長等を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営ができるよう、学校の教育活動を調整することができる。	⑲	校長等を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営ができるよう、学校の教育活動を調整することができる。																			
	⑲	目標に向けた取組の進め方について、教職員に指導・助言をすることができる。	⑲	目標に向けた取組の進め方について、教職員に指導・助言をすることができる。																			
	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。																			
F 人 材 育 成	⑲	教職員の服務監督を助けることができる。	⑲	教職員の服務監督を助けることができる。																			
	⑲	校長の掲げるワーク・ライフ・バランスの取組に基づき、業務改善に積極的に取り組むことができる。	⑲	校長の掲げるワーク・ライフ・バランスの取組に基づき、業務改善に積極的に取り組むことができる。																			
	⑲	校長等を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営ができるよう、学校の教育活動を調整することができる。	⑲	校長等を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営ができるよう、学校の教育活動を調整することができる。																			
	⑲	目標に向けた取組の進め方について、教職員に指導・助言をすることができる。	⑲	目標に向けた取組の進め方について、教職員に指導・助言をすることができる。																			
	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。																			
G 服 務 監 督	⑲	校長の掲げるワーク・ライフ・バランスの取組に基づき、業務改善に積極的に取り組むことができる。	⑲	校長の掲げるワーク・ライフ・バランスの取組に基づき、業務改善に積極的に取り組むことができる。																			
	⑲	校長等を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営ができるよう、学校の教育活動を調整することができる。	⑲	校長等を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営ができるよう、学校の教育活動を調整することができる。																			
	⑲	目標に向けた取組の進め方について、教職員に指導・助言をすることができる。	⑲	目標に向けた取組の進め方について、教職員に指導・助言をすることができる。																			
	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。																			
	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。																			
H コ ン プ ラ イ ア ン ス	⑲	校長の掲げるワーク・ライフ・バランスの取組に基づき、業務改善に積極的に取り組むことができる。	⑲	校長の掲げるワーク・ライフ・バランスの取組に基づき、業務改善に積極的に取り組むことができる。																			
	⑲	校長等を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営ができるよう、学校の教育活動を調整することができる。	⑲	校長等を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営ができるよう、学校の教育活動を調整することができる。																			
	⑲	目標に向けた取組の進め方について、教職員に指導・助言をすることができる。	⑲	目標に向けた取組の進め方について、教職員に指導・助言をすることができる。																			
	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。																			
	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。	⑲	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。																			

# 高知県教員育成指標「副校長・教頭」と管理職等研修との関連性

		副校長・教頭		
求められる 資質・能力		人間的魅力をもったリーダー性、教育に関するビジョン、強い使命感、時代をみる先見性、データに基づく課題発見能力、変革に挑む積極性、危機管理のできる判断力や行動力、経験に裏打ちされた見識等、管理職としての資質・指導力を発揮することができる。		
A 資質	①	教育に関する確固とした理念や価値観をもっている。		
	②	校長を補佐し、学校経営をする者としての自覚と使命感をもって責任を果たすことができる。		
	③	教育の動向や新しい教育に対する考え方を吸収し、学校運営に活用することができる。		
	④	児童生徒・保護者・教職員に対して、公平・公正な立場で、誠実に対応することができる。		
	⑤	教職員・保護者・地域の人々から信頼を得ることができる。		
B 組織 マネジ メント	⑥	学校経営ビジョンの実現に向けて、組織をチームとして機能させることができる。		
	⑦	学校評価を行うとともに、PDCAの考え方にに基づき、自校での取組の進捗管理をすることができる。		
	⑧	学校における働き方改革の推進の視点から、教職員の意識改革を図り、学校のデジタル化や業務の効率化・削減についての取組を推進することができる。		
	C カ リ キ ュ ー ラ ム ・ マ ネ ジ メ ン ト	⑨	教科等横断的な視点で、教育活動を推進できるよう教職員間の調整を行うことができる。	
		⑩	教育内容の質の向上に向けて、児童生徒の姿や地域の現状等を関連の調査や各種データ等に基づき把握することができる。	
		⑪	自校のICT環境等、学校内外の資源を効果的に活用し、学校経営ビジョンに即した校内研修(研究)を主幹教諭等とともに推進することができる。	
	D リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト	⑫	児童生徒・教職員の健康・安全管理を適切に行うことができる。	
		⑬	突発的な事態や災害時に校長を補佐し、的確な判断や指示をすることができる。	
		⑭	学校で生じるであろう種々の危機事象を想定し、それに備える組織づくりを補佐することができる。	
		⑮	児童生徒の個別の課題に対して校長を補佐し、支援を推進することができる。	
		⑯	校内外の連絡、情報共有体制を活用することができる。	
E 地 域 等 マ ネ ジ メ ン ト	⑰	地域等にある人的資源や物的資源等を活用するためのネットワークをつくることができる。		
	⑱	地域の人々や関係機関等に積極的に情報発信し、学校の現状や課題を説明することができる。		
	⑲	校種間・学校間連携を図るための連絡調整を行い、運営することができる。		
F 人 材 育 成	⑳	教職員の育成を図るための校内指導体制を運営することができる。		
	㉑	学校の教育活動をより効果的に達成するために教職員に対する適切な指導・助言をすることができる。		
	㉒	教職員の評価を的確に実施することができる。		
	㉓	教員育成指標を踏まえ、教職員に対して必要な情報を伝達・説明することができる。		
G ガ バ ナ ン ス	H 服 務 監 督	㉔	教職員の服務監督を適切に行うことができる。	
		㉕	教育の質の向上と教職員の健康増進に向け、ワーク・ライフ・バランスの取組を推進し、業務改善に積極的に取り組むことができる。	
	I コ ン プ ラ イ ア ン ス	㉖	校長を補佐し、法令等に基づいた適正な学校運営をすることができる。	
		㉗	県や市町村の教育行政方針を理解し、目標に向けた取組の進捗管理をすることができる。	
		㉘	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を理解し、教職員に説明することができる。	

		研修内容		A	B	C	D	E	F	G	H
新任用 教頭 研 修	1	学校組織マネジメント概論									
		人事評価									
	2	人権教育と生徒指導									
		LGBTQ+の理解と支援									
	3	学校の危機を管理する教頭の役割									
		法規									
		公務災害補償									
	4	情報公開と個人情報保護									
		教頭職と人材育成									
	5	学校組織の理解とマネジメントの必要性									
		学校組織マネジメント実践のポイント									
	6	特別支援教育(発達障害と二次障害)									
		ファシリテーションを活用する ～学校・学級経営から普段の会議・授業づくりまで～									
	7	教職員のメンタルヘルス ～メンタルヘルスフレンドリーな職場環境を目指して～									
		課題解決研修1									

		研修内容		A	B	C	D	E	F	G	H
任用 2 年 次 教 頭 研 修	1	課題解決研修2									
		学校事務等総論									
		職場復帰サポートシステム									
	2	コミュニティ・スクール ～地域とともにある学校づくり～									
		組織活性化に向けたリーダーシップ									
	3	デジタル社会における 学校組織マネジメント(働き方改革)									
		Society5.0時代に求められる教育 ～あるべき学校マネジメントとは～									
	4	OJD活性化診断									
		時代の変革に伴う学校改善・授業改善									
	5	課題解決研修3									
学校組織の機能化・活性化											

		研修内容		A	B	C	D	E	F	G	H
副 校 長 新 任 用 研 修	副校長としての役割										
	副校長としての実践										
	組織マネジメントの実践										

# 高知県教員育成指標「校長」と管理職等研修との関連性

		校長		
求められる 資質・能力		トップリーダーとしての人間の魅力、教育に関するビジョン、強い使命感、時代をみる先見性、データに基づく課題発見能力、変革に挑む積極性、危機管理のできる判断力や行動力、経験に裏打ちされた見識等、管理職としての資質・指導力を発揮し、内外環境を活用して学校の教育力を最大化することができる。		
A 資質	①	教育に関する確固とした理念や価値観をもっている。		
	②	学校経営責任者としての自覚と教育に対する使命感をもって、責任を果たすことができる。		
	③	教育の動向や新しい教育に対する考え方を吸収し、学校経営に活用することができる。		
	④	児童生徒・保護者・教職員に対して、公平・公正な立場で、誠実に対応することができる。		
	⑤	教職員・保護者・地域の人々から信頼を得ることができる。		
B 組織 マネジ メント	⑥	内外環境等のデータや情報の分析をもとに、明確な学校経営ビジョンを策定し、その実現に向けた経営戦略の構築及び組織づくりをすることができる。		
	⑦	学校評価を行うとともに、PDCAの考え方にに基づき、教育活動の改善に結びつけることができる。		
	⑧	学校における働き方改革の推進の視点から、学校組織マネジメントの向上と教職員の意識改革を図るとともに、学校のデジタル化や業務の効率化・削減の取組目標を設定し、具体的な方策を示すことができる。		
C マカ ネジキ ュラ ム・	⑨	教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ることができる。		
	⑩	児童生徒の姿や地域の現状等に基づき、教育課程のPDCAサイクルを確立し、機能させることができる。		
	⑪	学校経営ビジョンに基づく教育内容と教育活動を示し、その実現のために必要なICT環境や地域等の外部資源を活用する体制を整えることができる。		
D リス クマ ネジ メント	⑫	児童生徒・教職員の健康・安全管理を適切に行うことができる。		
	⑬	突発的な事態や災害時に迅速かつ的確な判断や指示をすることができる。		
	⑭	学校で生じるであろう種々の危機事象を想定し、それに備える組織づくりをすることができる。		
	⑮	校内外の連絡、情報共有体制を整えることができる。		
E マ地 域 ジ等 メン ト	⑯	地域等にある人的資源や物的資源等の確保と活用により、地域と協働した教育活動を組織化することができる。		
	⑰	地域の人々や関係機関等に積極的に情報発信し、学校の現状や課題、学校経営ビジョンについて共通理解を図ることができる。		
	⑱	校種間・学校間連携の体制を整えることができる。		
F 人 材 育 成	⑲	教職員の育成を図るための校内指導体制を整えることができる。		
	⑳	学校の教育活動をより効果的に達成するために教職員を適切に指導することができる。		
	㉑	教職員の評価を適切に実施し、フィードバックすることができる。		
	㉒	教員育成指標等を活用し、教職員のよさと課題を把握し、それぞれの教職員に応じた育成・指導を行うことができる。		
G 服 務 監 督	㉓	教職員の服務監督を適切に行うことができる。		
	㉔	教育の質の向上と教職員の健康増進に向け、ワーク・ライフ・バランスの取組を掲げ、業務改善に積極的に取り組むことができる。		
	H コ ン プ ラ イ ア ン ス	㉕	法令等に基づいた適正な学校経営をすることができる。	
		㉖	県や市町村の教育行政方針を理解し、目標に向けて実践することができる。	
		㉗	県の「教育大綱」、「教育振興基本計画」を教職員に説明し、学校経営に生かすことができる。	

		研修内容							
		A	B	C	D	E	F	G	H
新任用 校長 研修	1	校長に望むこと							
		校長としての実践							
		Society5.0時代に求められる学校組織マネジメント							
	2	幼児教育と小学校教育の円滑な接続について							
		校長職とマネジメント							
	3	学校運営・ハラスメント							
		チーム学校の実現に向けて（特別支援教育の理解と学校組織マネジメントの実践）							
		資質を磨く							

## 研修受講にあたっての留意点

### ○研修会場について

遠隔教育システムを使用した研修における研修会場については、高知県教育センターを本会場とし、サテライト会場として高知県立中芸高等学校、高知県立大方高等学校を使用します。受講する会場については、調査票で希望する会場を選択し、**必ず所属長の許可を得て**、研修担当まで提出してください。

なお、調査票の提出後に事情により研修会場の変更が必要になった場合は、所属長の許可を得て、速やかに研修担当あてに連絡ください。

### ○欠席等の対応について

欠席は原則として認められません。ただし、やむを得ない理由が生じた場合は、速やかに高知県教育センター（088-866-3890）に電話連絡してください。欠席が認められた時は、同センター所長あてに欠席届を提出してください。

欠席届等は、45～47 ページの様式を参考にし、市町村（学校組合）立小・中学校所属の者は校長及び所管教育長を、県立学校所属の者は校長を経由して、それぞれ提出してください。

### ○研修等の中止について

研修等会場の所在する地域に、当日**午前6時（午後開催の場合は午前9時）の時点で「大雨特別警報」、「暴風特別警報」、「暴風警報」のいずれかが発令**されている場合は、その日の研修を中止します。そのほか、台風や悪天候等により**中止する場合は**、研修等主管課ホームページにてお知らせします。

研修中止にならない場合でも、居住地域や通勤地域等の状況に注意し、**安全を第一に考えた行動**をとってください。

### ○旅費について

略科目等のコードは、44 ページの旅費コード一覧のとおりです。

### ○研修等の問い合わせについて

管理職等研修の担当は次のとおりですので、ご不明な点等のお問い合わせは、下記までお願いします。

高知県教育センター（〒781-5103 高知市大津乙 181）
次世代型教育推進部（管理職・マネジメント研修担当）
代表 088-866-3890 直通電話 088-866-7383
F A X 088-866-0074

## 研修講師のプロフィール

- ★新任用指導教諭研修2・新任用主幹教諭研修2、任用2年次教頭研修3の講師  
愛媛大学大学院 露口 健司（つゆぐち けんじ）教授

九州大学大学院人間環境学府博士課程修了後、九州共立大学経済学部助教授を経て、平成20年度より愛媛大学教育学部准教授、平成28年度より同大学大学院教育学研究科教授。リーダーシップ、学校と保護者の信頼関係の構築、ソーシャル・キャピタル、ウェルビーイング、学校改善などをテーマにした研究実績は高く評価されている。国立教育政策研究所、客員研究員。教職員支援機構客員フェロー。中央教育審議会「質の高い教員確保特別部会」委員。

- ★新任用指導教諭研修2・新任用主幹教諭研修2の講師  
鳴門教育大学大学院 阪根 健二（さかね けんじ）特命教授

東京学芸大学大学院教育研究科修士課程修了後、香川県内の中学校、香川県教育委員会事務局、香川大学の勤務を経て、平成20年度より鳴門教育大学大学院准教授、平成23年度より同大学院教授、令和3年度より特命教授。現在、広島大学大学院客員教授、香川県教育文化研究所所長も兼務。研究領域は学校危機管理、生徒指導、NIE（新聞活用教育）など幅広く、全国各地で講演も行っている。

- ★新任用指導教諭研修3・新任用主幹教諭研修3の講師  
鳴門教育大学大学院 泰山 裕（たいざん ゆう）准教授

関西大学情報科学研究科博士課程後期修了後、鳴門教育大学大学院で講師を経て、平成30年度より同大学大学院学校教育研究科准教授。初等中等教育現場を対象に思考力育成のための学習環境や、児童・生徒の思考を補助するためのシンキングツールやICTなどのツールの活用方法、思考を捉え評価するための視点や方法についても研究している。日本教育工学協会常任理事。日本教育メディア学会理事。

- ★新任用教頭研修2の講師  
鳴門教育大学大学院 葛西 真記子（かさい まきこ）教授

大阪大学大学院人間科学研究科博士課程（前期）、University of Missouri, Columbia カウンセリング心理学博士課程修了。ジェンダーとセクシュアリティに関する研究や実践を行っており、国内では日本心理臨床学会、日本精神分析学会、国外ではアメリカ心理学会、ヨーロッパの心理学会でも発表し海外の研究者との研究も盛んに行っている。SAG徳島（徳島県のセクシュアル・マイノリティ活動団体）代表。

- ★新任用教頭研修3の講師  
九州大学大学院 元兼 正浩（もとかね まさひろ）教授

平成15年から九州大学大学院人間環境学研究院（教育学部門）助教授、平成19年から同大学大学院准教授、平成25年より同大学大学院教授。日本教育学会理事、九州教育学会会長、九州教育経営学会会長、福岡県教育振興審議会委員などを務め、校長人事を中心テーマとし、学校マネジメント支援から自治体教育政策にまで、幅広く関わる。本県教育においては、令和元年度「学校組織の在り方検討委員会」の委員長として、本県の学校組織のあるべき姿や課題改善のための方向性等をご教示いただいた。

★新任用教頭研修4・5の講師、任用2年次教頭研修2の講師

鳴門教育大学 佐古 秀一（さこ ひでかず）学長

鳴門教育大学教職大学院教授から理事・副学長を経て、令和4年より同大学学長。専門は、教育経営学。学校組織の特性に関する理論的・実証的研究と、学校の組織開発を通じた実践的研究を行っている。学校の実態を踏まえた講義には定評があり、当教育センターの「学校コンサルチーム派遣事業」アドバイザーとして活躍された。本県教員育成協議会委員。

★新任用教頭研修6の講師

品川 裕香（しながわ ゆか）教育ジャーナリスト・株式会社 薫化舎 取締役副会長

早稲田大学法学部卒業後、雑誌・書籍の編集者を経て、ジャーナリストとして独立。いじめ・不登校・虐待の問題から、LD・ADHD・アスペルガー症候群など特別支援教育、非行などの矯正教育と、様々な分野について国内外を問わず精力的に取材し、子ども・保護者・教師・支援者たちの思いを多角的にとらえた執筆活動、翻訳活動を展開。前文部科学省中央教育審議会教育課程特別支援教育部会委員。

★新任用教頭研修6の講師

三田地 真実（みたち まみ）教育ファシリテーション研究所 主任研究員

教育学博士、言語聴覚士。米国オレゴン大学教育学部博士課程修了（Ph. D.）。専門の応用行動分析学、コミュニケーション障害学を活かしながら、ファシリテーションを教育や福祉・医療現場に伝える活動を行っている。令和5年3月まで星槎大学大学院教授として勤務。日本行動分析学会評議員。日本ポジティブ行動支援ネットワーク理事。

★任用2年次教頭研修2の講師

大分大学大学院教育学研究科 清國 祐二（きよくに ゆうじ）教授

大分県立高等学校教諭を経て、島根大学教育学部助教授、香川大学地域連携・生涯学習センター教授、令和2年より独立行政法人教職員支援機構つくば中央研修センター長を歴任。日本生涯教育学会、日本社会教育学会に所属。社会教育学・生涯学習論を専門とし、フィールド研究による「子どもの遊びと発達」研究、「参加型学習とファシリテーション」を軸とする「家庭教育支援」等、実践と深い関係をもちながら研究を進めている。

★任用2年次教頭研修3の講師

東京学芸大学 高橋 純（たかはし じゅん）教授

富山大学准教授、東京学芸大学准教授を経て、現職。中央教育審議会臨時委員、文部科学省において「教育の情報化に関する手引」作成検討会委員、「教育データの利活用に関する有識者会議」委員などを歴任。現在は、教職員支援機構客員フェロー、GIGAスクール構想下での校務の情報化の在り方についての専門家会議・副座長、日本教育工学会理事、日本教育メディア学会理事、日本教育工学協会会長を務めている。

教育工学、教育方法学、教育の情報化を専門領域とし、教育の情報化に関するテーマを中心に学校現場や企業関係者等と協力しながら研究を進めている。

★任用2年次教頭研修4の講師

京都大学大学院 石井 英真（いしい てるまさ）准教授

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。日米のカリキュラム研究、授業研究の蓄積に学びながら、学校で育成すべき資質・能力の中身をどう構造化・モデル化し、それらを実質的に実現しうるカリキュラム、授業、評価、教師教育をトータルにどうデザインしていけばよいのかを発信している。日本教育方法学会理事。日本カリキュラム学会理事。文部科学省中央教育審議会「教育課程部会」「児童生徒の学習評価に関するワーキンググループ」委員などを務めている。

★任用2年次教頭研修5の講師

兵庫教育大学教職大学院 浅野 良一（あさの りょういち）客員教授

アサヒビール、産業能率大学HRMセンター長、経営管理研究所主任研究員を経て、平成19年度より、兵庫教育大学教職大学院学校教育研究科教授。令和6年度より客員教授。学校組織マネジメント、人事管理、人材育成の分野を中心に、つくばの教職員支援機構をはじめ、全国各地で研修の講師として活躍している。

★新任用校長研修1の講師

若江 眞紀（わかえ まき）株式会社キャリアリンク 代表取締役

1987年に株式会社アクセプト設立。生活者からの視点に基づいた新たな市場戦略により、企業のマネジメント戦略、マーケティング戦略の策定・実施を総合的にサポートするコンサルティング事業を展開。子育てを通して日本とアメリカの教育に同時に触れた経験から、日本の教育に課題を感じ、1991年に保育・教育分野に特化した株式会社キャリアリンクを設立。企業の教育CSRや官公庁・自治体の教育施策へのコンサルティング事業を通じて、産業界と教育界をつなぐ次世代育成に取り組んでいる。

★新任用校長研修2の講師

植村 礼大（うえむら あやひろ）弁護士

京都大学法学部を卒業後、依法律事務所所属弁護士として活躍。私立短大経理事務等研修会や兵庫県校長会で講師を務め、当教育センターの研修においても、セクハラ・パワハラ・いじめ・体罰等、学校における不祥事案の防止等について、裁判事例をもとに教職員の義務・責任とは何か、専門的な見地から具体的な話をしていただき好評を得ている。

★新任用校長研修3の講師

後野 文雄（ごの ふみお）特別支援教育士スーパーバイザー

小学校教諭、平成4年から京都府総合教育センターの特別支援教育部指導主事、教育相談部チーフを経て、平成6年から京都府内の公立中学校教頭、平成9年からは、小・中学校の校長を歴任。退職後、多様な勤務経験と研究内容を生かし、平成27年度末まで京都教育大学客員教授、平成28年度からは、NHK「こどもの発達相談会」専任講師、国立舞鶴工業高等専門学校修学支援室特命教授として、現職教員等への指導・支援にあたっている。

## 新任用指導教諭研修（研修番号 301）実施要項

- 1 目的 教育課題に関する専門的な理解を深めるとともに、学校組織マネジメントや人材育成等に関する研修を通して、組織的な校内研究・研修の推進者としての資質・指導力の向上を図る。
- 2 対象 市町村（学校組合）立小学校・中学校・義務教育学校の新任用指導教諭  
県立学校の新任用指導教諭
- 3 期日、会場、日程及び内容等 次のとおり
  - ・新任用指導教諭研修 1・・・9 ページ
  - ・新任用指導教諭研修 2・・・10 ページ
  - ・新任用指導教諭研修 3・・・10 ページ

### 新任用指導教諭研修 1

- 1 期日 4月25日（木）
- 2 会場 高知県教育センター〈高知市大津乙 181〉（TEL 088-866-3890）
- 3 日程及び内容

	9:00	9:30	9:40		12:00	13:00	14:30	16:00
受付	開	<b>【講義・演習】</b> 「学校組織マネジメント概論」  高知県教育センター			昼	食	<b>【講義・演習】</b> 「コーチング」  高知県教育センター	
	会	<b>【講義・演習】</b> 「特別支援教育の理解について」  高知県教育センター						

※新任用主幹教諭研修 1 と合同実施とします。

## 新任用指導教諭研修 2 [ライブ配信研修]

- 1 期 日 9月20日(金)
- 2 会 場 所属校
- 3 日程及び内容

	9:00 9:30	12:00	13:00	16:00
受	【講義・演習】 「教職員がチームワークを生み出す 学校づくり (ミドルリーダー論)」		昼	【講義・演習】 「学校安全～命と心を守るために 教職員はどう取り組めばいいのか～」
付	愛媛大学大学院 教授 露口 健司		食	鳴門教育大学大学院 特命教授 阪根 健二

※新任用主幹教諭研修2、経営力育成セレクト研修8(午前)・9(午後)と合同実施とします。

### 4 推薦図書

- 中原淳・田中聡『チームワーキング ケースとデータで学ぶ「最強チーム」の作り方』  
(日本能率協会マネジメントセンター)
- 阪根健二『生徒指導のリスクマネジメント』(学事出版)
- 川上敬二郎『なぜかいじめに巻き込まれる子どもたち』(ポプラ社)

## 新任用指導教諭研修 3

- 1 期 日 11月15日(金)
- 2 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉(TEL 088-866-3890)
- 3 日程及び内容

	9:00 9:30	12:00	13:00	16:00
受	【講義・演習】 「学校組織マネジメント (実践交流)」		昼	【講義・演習】 「深い学びを実現する カリキュラム・マネジメント」
付	高知県教育センター		食	鳴門教育大学大学院 准教授 泰山 裕

※新任用主幹教諭研修3、経営力育成セレクト研修17(午後)と合同実施とします。

### 4 推薦図書

- 田村学『カリキュラム・マネジメント入門』(東洋館出版社)

# 任用 2 年次指導教諭研修（研修番号 302）実施要項

- 1 目的 教育課題に関する専門的な理解を深めるとともに、学校組織マネジメントや人材育成等に関する研修を通して、組織的な校内研究・研修の推進者としての資質・指導力の向上を図る。
- 2 対象 市町村（学校組合）立小学校・中学校・義務教育学校の任用 2 年次指導教諭  
県立学校の任用 2 年次指導教諭
- 3 研修の受講にあたって  
新任用教頭研修 2・6、任用 2 年次教頭研修 3・4 から 2 日選択して受講してください。  
会場、日程等については、該当のページを参照してください。

次の 1～4 の中から 2 日 選択して受講する。

1 新任用教頭研修 2（ライブ配信研修：6 月 4 日実施）  
「人権教育と生徒指導」、「LGBTQ+ の理解と支援」を受講 . . . . . 16 ページ

2 任用 2 年次教頭研修 3（ライブ配信研修：9 月 26 日実施）  
「デジタル社会における学校組織マネジメント（働き方改革）」、  
「Society5.0 時代に求められる教育～あるべき学校マネジメントとは～」  
を受講 . . . . . 21 ページ

3 新任用教頭研修 6（ライブ配信研修：10 月 4 日実施）  
「特別支援教育（発達障害と二次障害）」、  
「ファシリテーションを活用する  
～学校・学級経営から普段の会議・授業づくりまで～」  
を受講 . . . . . 18 ページ

4 任用 2 年次教頭研修 4（10 月 31 日実施）  
「OJD 活性度診断」、「時代の変革に伴う学校改善・授業改善」  
を受講 . . . . . 21 ページ

## 4 備考

選択研修希望調査票を 4 月 17 日（水）までに、校長に相談のうえ、管理職・マネジメント研修担当あてに提出してください。

## 新任用主幹教諭研修（研修番号 303）実施要項

- 1 目的 教育課題に関する専門的な理解を深めるとともに、学校組織マネジメントや人材育成等に関する研修を通して、学校運営の充実を目指す推進者としての資質・指導力の向上を図る。
- 2 対象 市町村（学校組合）立小学校・中学校・義務教育学校の新任用主幹教諭  
県立学校の新任用主幹教諭
- 3 期日、会場、日程及び内容等 次のとおり
  - ・新任用主幹教諭研修 1・・・12 ページ
  - ・新任用主幹教諭研修 2・・・13 ページ
  - ・新任用主幹教諭研修 3・・・13 ページ

### 新任用主幹教諭研修 1

- 1 期日 4月25日（木）
- 2 会場 高知県教育センター〈高知市大津乙 181〉（TEL 088-866-3890）
- 3 日程及び内容

	9:00	9:30	9:40		12:00	13:00	14:30	16:00
受 付	開 会	<b>【講義・演習】</b> 「学校組織マネジメント概論」  高知県教育センター			昼 食	<b>【講義・演習】</b> 「コーチング」  高知県教育センター		<b>【講義・演習】</b> 「特別支援教育の 理解について」  高知県教育センター

※新任用指導教諭研修 1 と合同実施とします。

## 新任用主幹教諭研修 2 [ライブ配信研修]

- 1 期 日 9月20日(金)
- 2 会 場 所属校
- 3 日程及び内容

	9:00 9:30	12:00	13:00	16:00
受 付	<b>【講義・演習】</b> 「教職員がチームワークを生み出す 学校づくり (ミドルリーダー論)」  愛媛大学大学院 教授 露口 健司	昼  食	<b>【講義・演習】</b> 「学校安全～命と心を守るために 教職員はどう取り組めばいいのか～」  鳴門教育大学大学院 特命教授 阪根 健二	

※新任用指導教諭研修2、経営力育成セレクト研修8(午前)・9(午後)と合同実施とします。

### 4 推薦図書

- 中原淳・田中聡『チームワーキング ケースとデータで学ぶ「最強チーム」の作り方』  
 (日本能率協会マネジメントセンター)  
 阪根健二『生徒指導のリスクマネジメント』(学事出版)  
 川上敬二郎『なぜかいじめに巻き込まれる子どもたち』(ポプラ社)

## 新任用主幹教諭研修 3

- 1 期 日 11月15日(金)
- 2 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉(TEL 088-866-3890)
- 3 日程及び内容

	9:00 9:30	12:00	13:00	16:00
受 付	<b>【講義・演習】</b> 「学校組織マネジメント(実践交流)」  高知県教育センター	昼  食	<b>【講義・演習】</b> 「深い学びを実現する カリキュラム・マネジメント」  鳴門教育大学大学院 准教授 泰山 裕	

※新任用指導教諭研修3、経営力育成セレクト研修17(午後)と合同実施とします。

### 4 推薦図書

- 田村学『カリキュラム・マネジメント入門』(東洋館出版社)

# 任用 2 年次主幹教諭研修（研修番号 304）実施要項

- 1 目的 教育課題に関する専門的な理解を深めるとともに、学校組織マネジメントや人材育成等に関する研修を通して、学校運営の充実を目指す推進者としての資質・指導力の向上を図る。
- 2 対象 市町村（学校組合）立小学校・中学校・義務教育学校の任用 2 年次主幹教諭  
県立学校の任用 2 年次主幹教諭
- 3 研修の受講にあたって  
新任用教頭研修 2・6、任用 2 年次教頭研修 3・4 から 2 日選択して受講してください。  
会場、日程等については、該当のページを参照してください。

次の 1～4 の中から 2 日 選択して受講する。

1 新任用教頭研修 2（ライブ配信研修：6 月 4 日実施）  
「人権教育と生徒指導」、「LGBTQ+ の理解と支援」を受講 . . . . . 16 ページ

2 任用 2 年次教頭研修 3（ライブ配信研修：9 月 26 日実施）  
「デジタル社会における学校組織マネジメント（働き方改革）」、  
「Society5.0 時代に求められる教育～あるべき学校マネジメントとは～」  
を受講 . . . . . 21 ページ

3 新任用教頭研修 6（ライブ配信研修：10 月 4 日実施）  
「特別支援教育（発達障害と二次障害）」、  
「ファシリテーションを活用する  
～学校・学級経営から普段の会議・授業づくりまで～」  
を受講 . . . . . 18 ページ

4 任用 2 年次教頭研修 4（10 月 31 日実施）  
「OJD 活性度診断」、「時代の変革に伴う学校改善・授業改善」  
を受講 . . . . . 21 ページ

## 4 備考

選択研修希望調査票を 4 月 17 日（水）までに、校長に相談のうえ、管理職・マネジメント研修担当あてに提出してください。

## 新任用教頭研修（研修番号 305）実施要項

- 1 目的 人間的魅力をもったリーダー性、教育に関するビジョン、強い使命感、時代をみる先見性、課題発見能力、変革に挑む積極性、危機管理のできる判断力や行動力、経験に裏打ちされた見識等、管理職としての資質・指導力の向上を図る。
- 2 対象 市町村（学校組合）立小学校・中学校・義務教育学校の新任用教頭  
県立学校の新任用教頭
- 3 期日、会場、日程及び内容等 次のとおり
  - ・新任用教頭研修1 . . . . . 15 ページ
  - ・新任用教頭研修2（希望研修）. . . 16 ページ
  - ・新任用教頭研修3 . . . . . 16 ページ
  - ・新任用教頭研修4 . . . . . 17 ページ
  - ・新任用教頭研修5 . . . . . 17 ページ
  - ・新任用教頭研修6（希望研修）. . . 18 ページ
  - ・新任用教頭研修7 . . . . . 18 ページ
- 4 希望研修について  
希望研修については、研修内容と自身の力量や経験等から判断し、校長に相談のうえ、受講を決定してください。  
受講希望の有無については、希望研修調査票を4月17日（水）までに、管理職・マネジメント研修担当あてに提出してください。

### 新任用教頭研修 1

- 1 期日 4月30日（火）
- 2 会場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉（TEL 088-866-3890）
- 3 日程及び内容

	9:00	9:30	10:00	11:30	12:30	16:00
受付	開	会	オリエンテーション	【講義・演習】 「学校組織 マネジメント概論」	昼食	【講義・演習・グループ協議】 「人事評価」
			高知県教育センター			高知県教育センター

※「人事評価」は、新任用副校長研修（条件A対象）、新任用校長研修（条件A対象）と合同実施とします。

## 新任用教頭研修 2 (希望研修) [ライブ配信研修]

1 期 日 6月4日(火)

2 会 場 所属校

3 日程及び内容

9:00	9:30	12:30	13:30	16:00
受	【講義・演習】 「人権教育と生徒指導」		昼	【講義・演習】 「LGBTQ+の理解と支援」
	付	「人権教育」		
	高知県教育センター	人権教育・児童生徒課		

※任用2年次指導教諭研修(選択)、任用2年次主幹教諭研修(選択)と合同実施とします。

※経営力育成セレクト研修2(午前)・3(午後)と合同実施とします。

4 推薦図書 葛西 真記子『心理支援者のためのLGBTQ+ハンドブック』(誠信書房)

## 新任用教頭研修 3

オンデマンド研修含む

1 期 日 7月1日(月)

2 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉(TEL 088-866-3890)  
高知県立大方高等学校〈幡多郡黒潮町入野5507〉

3 日程及び内容

9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
受	【講義・演習】 「学校の危機を管理する教頭の役割」		昼	【講義・演習】 「法規」
	付	九州大学大学院 教授 元兼 正浩		

※経営力育成セレクト研修5(午前)と合同実施とします。

4 オンデマンド研修

期 間 7月1日(月)～8月30日(金)

内 容 「公務災害補償」 職員厚生課  
「情報公開と個人情報保護」 法務文書課

5 推薦図書 元兼 正浩『次世代スクールリーダーのためのケースメソッド入門』(花書院)

## 新任用教頭研修 4

- 1 期 日 8月22日(木)
- 2 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉(TEL 088-866-3890)
- 3 日程及び内容

9:00	9:30	12:00	13:00	16:00	
受	<b>【講義・演習】</b> 「教頭職と人材育成」		昼	<b>【講義・演習】</b> 「学校組織の理解とマネジメントの必要性」	
付	香美市教育委員会生涯学習振興課 推進官 濱田 久美子		食	鳴門教育大学 学長 佐古 秀一	

※経営力育成セレクト研修6(午前)と合同実施とします。

- 4 推薦図書 松下幸之助『道をひらく』(PHP研究所)  
 松下幸之助『リーダーになる人を知っておいてほしいこと』(PHP研究所)  
 野口悠紀雄『2040年の日本』(幻冬舎)  
 教育の未来を研究する会『最新教育動向2024』(明治図書出版)  
 佐古秀一『管理職のための学校経営R-PDCA』(明治図書)

## 新任用教頭研修 5

- 1 期 日 8月23日(金)
- 2 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉(TEL 088-866-3890)
- 3 日程及び内容

9:00	9:30	16:00
受	<b>【講義・演習】</b> 「学校組織マネジメント実践のポイント」	
付	鳴門教育大学 学長 佐古 秀一	

※適宜1時間の昼食をはさみます。

## 新任用教頭研修 6 (希望研修) [ライブ配信研修]

1 期 日 10月4日(金)

2 会 場 所属校

3 日程及び内容

9:00 9:30		12:00	13:00	16:00
受	【講義】 「特別支援教育 (発達障害と二次障害)」	昼	【講義・演習】 「ファシリテーションを活用する ～学校・学級経営から 普段の会議・授業づくりまで～」	
付	教育ジャーナリスト 株式会社薫化舎 取締役副会長 品川 裕香	食	教育ファシリテーション研究所 主任研究員 三田地 真実	

※任用2年次指導教諭研修(選択)、任用2年次主幹教諭研修(選択)と合同実施とします。

※経営力育成セレクト研修12(午前)・13(午後)と合同実施とします。

### 4 推薦図書

品川裕香 ○基本的な理論について書かれているもの

①『「働く」ために必要なこと』(筑摩書房)

②『心からのごめんなさいへ』(中央法規出版)

○具体的なノウハウについて書かれているもの

③『怠けてなんかない!ゼロシーズン』(岩崎書店)

④『怠けてなんかない!サードシーズン』(岩崎書店)

⑤『いじめない力、いじめられない力』(岩崎書店)

⑥『学習障害のある子どもが第2言語を学ぶとき』(明石書店)

三田地 真実『ファシリテーター行動指南書～意味ある場づくりのために～』(ナカニシヤ出版)

## 新任用教頭研修 7

1 期 日 12月10日(火)

2 会 場 高知県教育センター(高知市大津乙181)(TEL 088-866-3890)

高知県立大方高等学校(幡多郡黒潮町入野5507)

3 日程及び内容

9:00 9:30		12:30	13:30	16:00
受	【講義・演習】 「教職員のメンタルヘルス ～メンタルヘルスフレンドリーな 職場環境を目指して～」	昼	【講義・演習】 「課題解決研修1」	
付	高知大学教職大学院 教授 岡田 倫代	食	高知県教育センター	

※経営力育成セレクト研修18(午前)と合同実施とします。

4 推薦図書 島津明人『職場のポジティブメンタルヘルス3

～働き方改革に活かす17のヒント～』(誠信書房)

## 任用 2 年次教頭研修（研修番号 306）実施要項

- 1 目的 人間的魅力をもったリーダー性、教育に関するビジョン、強い使命感、時代をみる先見性、課題発見能力、変革に挑む積極性、危機管理のできる判断力や行動力、経験に裏打ちされた見識等、管理職としての資質・指導力の向上を図る。
- 2 対象 市町村（学校組合）立小学校・中学校・義務教育学校の任用 2 年次教頭  
県立学校の任用 2 年次教頭
- 3 期日、会場、日程及び内容等 次のとおり
  - ・任用 2 年次教頭研修 1 . . . . . 20 ページ
  - ・任用 2 年次教頭研修 2 . . . . . 20 ページ
  - ・任用 2 年次教頭研修 3（希望研修）. . . 21 ページ
  - ・任用 2 年次教頭研修 4（希望研修）. . . 21 ページ
  - ・任用 2 年次教頭研修 5 . . . . . 22 ページ
- 4 希望研修について  
希望研修については、研修内容と自身の力量や経験等から判断し、校長に相談のうえ、受講を決定してください。  
受講希望の有無については、希望研修調査票を 4 月 17 日（水）までに、管理職・マネジメント研修担当あてに提出してください。
- 5 提出物・提出日等一覧（課題解決研修に係る文書）詳細は 32 ページ参照

提出物	様式	主な記載事項	提出日
研修計画書	様式① 様式②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の重点目標</li> <li>・内外環境の分析</li> <li>・具体的な取組の柱、評価基準</li> <li>・具体的な取組の内容</li> <li>・組織的な取組の手立て</li> <li>※校長が記入する事項</li> <li>・校長から教頭へのミッション</li> <li>・重点目標及び取組の柱についての意見等</li> </ul>	5 月 8 日（水）
中間報告書	様式③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画と照合した取組の実施状況</li> <li>・中間時点での取組の成果と課題</li> </ul>	12 月 6 日（金）
最終報告書	様式③ 様式④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画と照合した取組の実施状況</li> <li>・2 月末時点での取組の成果と課題</li> <li>・今年度の重点目標に対する総合評価</li> <li>・教頭職としての自分自身の成長と現在の課題</li> <li>※校長が記入する事項</li> <li>・校長所見</li> </ul>	3 月 14 日（金）

## 任用2年次教頭研修1 [ライブ配信研修]

1 期 日 5月16日(木)

2 会 場 所属校

3 日程及び内容

オンデマンド研修含む

9:00	9:30	12:30	13:30	16:00
受	【演習・グループ協議】 「課題解決研修2」	昼	【講義・演習】 「学校事務等総論」	
付	高知県教育センター	食	<小・中学校> 高知県公立小・中学校事務職員 <県立学校> 高知県公立学校事務長会	

4 オンデマンド研修

期 間 6月3日(月)～6月28日(金)

内 容 「職場復帰サポートシステム」 教職員・福利課

## 任用2年次教頭研修2

1 期 日 8月29日(木)

2 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉(TEL 088-866-3890)

3 日程及び内容

9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
受	【講義・演習】 「コミュニティ・スクール ～地域とともにある学校づくり～」	昼	【講義・演習】 「組織活性化に向けたリーダーシップ」	
付	大分大学大学院教育学研究科 教授 清國 祐二	食	鳴門教育大学 学長 佐古 秀一	

※経営力育成セレクト研修7(午前)と合同実施とします。

- 4 推薦図書 熊谷慎之輔他編『地域学校協働のデザインとマネジメント』(学文社)  
時岡晴美他編『地域と協働する学校』(福村出版)  
佐古秀一『管理職のための学校経営R-PDCA』(明治図書)

## 任用2年次教頭研修3（希望研修）〔ライブ配信研修〕

- 1 期 日 9月26日（木）
- 2 会 場 所属校
- 3 日程及び内容

9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
受	【講義・演習】 「デジタル社会における 学校組織マネジメント（働き方改革）」	昼	【講義・演習】 「Society5.0時代に求められる教育 ～あるべき学校マネジメントとは～」	
付	愛媛大学大学院 教授 露口 健司	食	東京学芸大学 教授 高橋 純	

※任用2年次指導教諭研修(選択)、任用2年次主幹教諭研修(選択)、経営力育成セレクト研修10(午前)・11(午後)と合同実施とします。

### 4 推薦図書・リンク

露口健司『教員のウェルビーイングを高める学校の「働きやすさ・働きがい」改革』  
(教育開発研究所)  
『改訂版 全国の学校における働き方改革事例集』(文部科学省)  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/hatarakikata/mext\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/mext_00001.html)

## 任用2年次教頭研修4（希望研修）

- 1 期 日 10月31日（木）
- 2 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉(TEL 088-866-3890)  
高知県立中芸高等学校〈安芸郡田野町1203-4〉  
高知県立大方高等学校〈幡多郡黒潮町入野5507〉
- 3 日程及び内容

9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
受	【演習・グループ協議】 「OJD活性度診断」	昼	【講義・演習】 「時代の変革に伴う学校改善・授業改善」	
付	高知県教育センター	食	京都大学大学院 准教授 石井 英真	

※任用2年次指導教諭研修(選択)、任用2年次主幹教諭研修(選択)、経営力育成セレクト研修16(午後)と合同実施とします。

### 4 推薦図書 石井英真『教育「変革」の時代の羅針盤』(教育出版)

## 任用 2 年次教頭研修 5

- 1 期 日 1月9日(木)
- 2 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙 181〉(TEL 088-866-3890)
- 3 日程及び内容

	9:00 9:30	12:15	13:15	16:00
受  付	<p><b>【発表・グループ協議】</b> 「課題解決研修3」</p> <p style="text-align: center;">高知県教育センター</p>	昼  食	<p><b>【講義・演習】</b> 「学校組織の機能化・活性化」</p> <p style="text-align: center;">兵庫教育大学教職大学院 客員教授 浅野 良一</p>	閉  会

※「学校組織の機能化・活性化」は、新任用副校長研修(条件B対象者)、新任用校長研修(条件B対象者)、経営力育成セレクト研修20と合同実施とします。

- 4 推薦図書 古川久敬『チームマネジメント』(日本経済新聞出版)
- 5 その他  
「課題解決研修3」では、課題解決研修の様式①～③を持参してください(持参部数は後日連絡します)。

## 新任用副校長研修（研修番号 307）実施要項

- 1 目的 教育課題を把握し、学校組織を活性化するために、管理職としての資質・指導力の向上を図る。
- 2 対象 県立学校の新任用副校長
- 3 期日、会場、日程及び内容等 次のとおり

### ① 対象者全員が受講する研修

### 新任用副校長研修

- 1 期 日 6月21日（金）
- 2 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙 181〉（TEL 088-866-3890）
- 3 日程及び内容

		9:00 9:30 9:40	10:40	12:00	13:00	16:00
受 付	開 会	<b>【講義】</b> 「副校長としての 役割」  高知県教育センター	<b>【講義】</b> 「副校長としての 実践」  県内校長	昼 食	<b>【講義・演習】</b> 「組織マネジメントの実践」  廣瀬製紙株式会社 取締役 馬醫 光明	

※経営力育成セレクト研修4（午後）と合同実施とします。

- 4 推薦図書 江口克彦『松下幸之助 成功の法則』（WAVE出版）  
 稲盛和夫『働き方』（三笠書房）

② 次の条件Aに該当する者のみが受講する研修

A：高知県教育センターが新任用教頭研修1（教頭研修ステージⅠ）として実施した「人事評価」を受講していない者 ※ただし、前職で同様の研修を受講している場合は免除する場合あり

新任用教頭研修1「人事評価」（4月30日12:30～16:00実施）を受講・・・15ページ

③ 次の条件Bに該当する者のみが受講する研修

B：平成16年度以降に高知県教育センターが実施した「学校組織マネジメント研修」を受講していない者、または、教職員支援機構が実施した「教職員等中央研修」等で「学校組織マネジメント研修」を受講していない者

任用2年次教頭研修5

「学校組織の機能化・活性化」（1月9日午後実施）を受講・・・・・・22ページ

上記の他に、学校組織マネジメントの充実を図るために、次の研修の受講を推薦します。  
受講希望の場合は、研修の1か月前までに担当まで連絡してください。

・新任用教頭研修4（8月22日午後実施）  
「学校組織の理解とマネジメントの必要性」（17ページ）

・新任用教頭研修5（8月23日終日実施）  
「学校組織マネジメント実践のポイント」（17ページ）

・任用2年次教頭研修2（8月29日午後実施）  
「組織活性化に向けたリーダーシップ」（20ページ）

・新任用教頭研修6（10月4日午後実施）  
「ファシリテーションを活用する  
～学校・学級経営から普段の会議・授業づくりまで～」（18ページ）

セットで受講することが望ましい。

5 備考

研修に係る調査票を4月17日（水）までに、校長に確認のうえ、管理職・マネジメント研修担当あてに提出してください。

## 新任用校長研修（研修番号 308）実施要項

- 1 目的 学校経営におけるトップリーダーとして、職責の理解を深めるとともに、教育課題を把握し、その解決に向けて学校組織の活性化やOJTを通じた人材育成を行う校長としての資質・指導力の向上を図る。
- 2 対象 市町村（学校組合）立小学校・中学校・義務教育学校の新任用校長  
県立学校の新任用校長
- 3 期日、会場、日程及び内容等 次のとおり
  - ・新任用校長研修1・・・25ページ
  - ・新任用校長研修2・・・26ページ
  - ・新任用校長研修3・・・26ページ

### ① 対象者全員が受講する研修

#### 新任用校長研修 1

**オンデマンド研修含む**

- 1 期日 5月24日（金）
- 2 会場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉（TEL 088-866-3890）
- 3 日程及び内容

9:00	9:30	9:50	11:00	12:00	13:00	16:00
受付	開会	<b>【講義】</b> 「校長に望むこと」  高知県教育次長	<b>【講義】</b> 「校長としての実践」  県内校長	昼食	<b>【講義・演習】</b> 「Society5.0時代に求められる学校組織マネジメント」  株式会社キャリアリンク 代表取締役 若江 眞紀	

※経営力育成セレクト研修1（午後）と合同実施とします。

#### 4 オンデマンド研修

- 期 間 6月3日（月）～6月28日（金）
- 内 容 「幼児教育と小学校教育の円滑な接続について」 幼保支援課

#### 5 推薦図書 若江眞紀『協育のチカラ』（東洋館出版社）

## 新任用校長研修 2

- 期 日 10月10日(木)
- 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉(TEL 088-866-3890)  
高知県立中芸高等学校〈安芸郡田野町1203-4〉  
高知県立大方高等学校〈幡多郡黒潮町入野5507〉
- 日程及び内容

9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
受	【講義】 「校長職とマネジメント」	昼	【講義】 「学校運営・ハラスメント」	
付	高知市教育委員会 GIGA 推進プロジェクトチーム 情報教育学校支援アドバイザー 岡崎 伸二	食	弁護士法人 俵法律事務所 弁護士 植村 礼大	

※経営力育成セレクト研修14(午前)・15(午後)と合同実施とします。

- 推薦図書 編集代表 坂田仰『学校のいじめ対策と弁護士の実務』(青林書院)

## 新任用校長研修 3

- 期 日 12月13日(金)
- 会 場 高知県教育センター〈高知市大津乙181〉(TEL 088-866-3890)  
高知県立大方高等学校〈幡多郡黒潮町入野5507〉
- 日程及び内容

9:00	9:30	14:10	16:00
受	【講義】 「チーム学校の実現に向けて (特別支援教育の理解と 学校組織マネジメントの実践)」	【講義】 「資質を磨く」	閉
付	特別支援教育士スーパーバイザー 後野 文雄	高知県文教協会 理事長 垣内 守男	会

※12:00~13:00に昼食をはさみます。

※「チーム学校の実現に向けて」は、経営力育成セレクト研修19と合同実施とします。

- 推薦図書 稲盛和夫『生き方』(サンマーク出版)

## ② 次の条件Aに該当する者のみが受講する研修

A：高知県教育センターが新任用教頭研修1（教頭研修ステージⅠ）として実施した「人事評価」を受講していない者 ※ただし、前職で同様の研修を受講している場合は免除する場合あり

新任用教頭研修1「人事評価」（4月30日12:30～16:00実施）を受講・・・15ページ

## ③ 次の条件Bに該当する者のみが受講する研修

B：平成16年度以降に高知県教育センターが実施した「学校組織マネジメント研修」を受講していない者、または、教職員支援機構が実施した「教職員等中央研修」等で「学校組織マネジメント研修」を受講していない者

任用2年次教頭研修5  
「学校組織の機能化・活性化」（1月9日午後実施）を受講・・・・・・・・・・ 22ページ

上記の他に、学校組織マネジメントの充実を図るために、次の研修の受講を推薦します。  
受講希望の場合は、研修の1か月前までに担当まで連絡してください。

- ・新任用教頭研修4（8月22日午後実施）  
「学校組織の理解とマネジメントの必要性」（17ページ）
- ・新任用教頭研修5（8月23日終日実施）  
「学校組織マネジメント実践のポイント」（17ページ）
- ・任用2年次教頭研修2（8月29日午後実施）  
「組織活性化に向けたリーダーシップ」（20ページ）
- ・新任用教頭研修6（10月4日午後実施）  
「ファシリテーションを活用する  
～学校・学級経営から普段の会議・授業づくりまで～」（18ページ）

セットで受講することが望ましい。

## ④ 令和2年度に新任用副校長研修を受講した新任用校長について

令和2年度に新任用副校長研修を受講した方は、以下の研修を受講していますので、受講免除となります。

研修3「チーム学校の実現に向けて」（講師：後野文雄特別支援教育士スーパーバイザー）

上記の研修について、今年度の新任用校長研修において、再度、受講を希望する場合は、研修日の前日までに担当に連絡してください。

## 5 備考

研修に係る調査票を4月17日（水）までに、管理職・マネジメント研修担当あてに提出してください。

## 経営力育成セレクト研修（研修番号 311）実施要項

### 1 目的

学校組織マネジメントに関する理論や実践について研修を行うとともに、教育課題の解決や人材育成に必要な専門性等に関する研修を通して、学校経営のリーダー及びキーパーソンとして必要な実践的指導力の向上を図る。

### 2 対象

校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、事務長、総括主任の希望者、10年経験以上の教諭で校長の推薦がある者（講座1・5・6・14・15・18は対象が異なりますので注意してください。）

### 3 申込方法、申込締切

受講希望者本人が、所属長の許可を受けた後、「全国教員研修プラットフォーム:Plant（プラント）」から、各自で申し込んでください。

締切は、研修開催日の1か月前、16:30までとします。

### 4 期日、日程及び内容等

※会場等詳細については、それぞれ合同実施の研修のページを参照してください。

番号	日時	研修内容等
1	5月24日（金） 13:00～16:00	「Society5.0時代に求められる学校組織マネジメント」 株式会社キャリアリンク 代表取締役 若江 眞紀
・新任用校長研修1と合同実施（詳細は25ページ） ※受講対象は、校長・副校長		
2	6月4日（火） 9:30～12:30 【ライブ配信研修】	「人権教育と生徒指導」 高知県教育センター、人権教育・児童生徒課
・新任用教頭研修2と合同実施（詳細は16ページ）		
3	6月4日（火） 13:30～16:00 【ライブ配信研修】	「LGBTQ+の理解と支援」 鳴門教育大学大学院 教授 葛西 真記子
・新任用教頭研修2と合同実施（詳細は16ページ）		
4	6月21日（金） 13:00～16:00	「組織マネジメントの実践」 廣瀬製紙株式会社 取締役 馬醫 光明
・新任用副校長研修と合同実施（詳細は23ページ）		

番号	日時	研修内容等
5	7月1日(月) 9:30~12:00	「学校の危機を管理する教頭の役割」 九州大学大学院 教授 元兼 正浩
	<p>・新任教頭研修3と合同実施 (詳細は16ページ)</p> <p>※受講対象は、校長・副校長・教頭。事前課題を出す場合があります。</p>	
6	8月22日(木) 9:30~12:00	「教頭職と人材育成」 香美市教育委員会生涯学習振興課 推進官 濱田 久美子
	<p>・新任教頭研修4と合同実施 (詳細は17ページ)</p> <p>※受講対象は、校長・副校長・教頭</p>	
7	8月29日(木) 9:30~12:00	「コミュニティ・スクール～地域とともにある学校づくり～」 大分大学大学院教育学研究科 教授 清國 祐二
	<p>・任用2年次教頭研修2と合同実施 (詳細は20ページ)</p>	
8	9月20日(金) 9:30~12:00 【ライブ配信研修】	「教職員がチームワークを生み出す学校づくり(ミドルリーダー論)」 愛媛大学大学院 教授 露口 健司
	<p>・新任教頭研修2、新任教頭研修2と合同実施 (詳細は10・13ページ)</p>	
9	9月20日(金) 13:00~16:00 【ライブ配信研修】	「学校安全 ～命と心を守るために教職員はどう取り組めばいいのか～」 鳴門教育大学大学院 特命教授 阪根 健二
	<p>・新任教頭研修2、新任教頭研修2と合同実施 (詳細は10・13ページ)</p>	
10	9月26日(木) 9:30~12:00 【ライブ配信研修】	「デジタル社会における学校組織マネジメント(働き方改革)」 愛媛大学大学院 教授 露口 健司
	<p>・任用2年次教頭研修3と合同実施 (詳細は21ページ)</p>	

番号	日時	研修内容等
11	9月26日(木) 13:00~16:00 【ライブ配信研修】	「Society5.0時代に求められる教育 ～あるべき学校マネジメントとは～」 東京学芸大学 教授 高橋 純
	・任用2年次教頭研修3と合同実施 (詳細は21ページ)	
12	10月4日(金) 9:30~12:00 【ライブ配信研修】	「特別支援教育(発達障害と二次障害)」 教育ジャーナリスト 株式会社薫化舎取締役副会長 品川 裕香
	・新任用教頭研修6と合同実施 (詳細は18ページ)	
13	10月4日(金) 13:00~16:00 【ライブ配信研修】	「ファシリテーションを活用する ～学校・学級経営から普段の会議・授業づくりまで～」 教育ファシリテーション研究所 主任研究員 三田地 真実
	・新任用教頭研修6と合同実施 (詳細は18ページ)	
14	10月10日(木) 9:30~12:00	「校長職とマネジメント」 高知市教育委員会 GIGA推進プロジェクトチーム 情報教育学校支援アドバイザー 岡崎 伸二
	・新任用校長研修2と合同実施 (詳細は26ページ) ※受講対象は、校長	
15	10月10日(木) 13:00~16:00	「学校運営・ハラスメント」 弁護士法人 俵法律事務所 弁護士 植村 礼大
	・新任用校長研修2と合同実施 (詳細は26ページ) ※受講対象は、校長・副校長	
16	10月31日(木) 13:00~16:00	「時代の変革に伴う学校改善・授業改善」 京都大学大学院 准教授 石井 英真
	・任用2年次教頭研修4と合同実施 (詳細は21ページ)	

番号	日時	研修内容等
17	11月15日(金) 13:00~16:00	「深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント」 鳴門教育大学大学院 准教授 泰山 裕
	・新任用指導教諭研修3、新任用主幹教諭研修3と合同実施 (詳細は10・13ページ)	
18	12月10日(火) 9:30~12:30	「教職員のメンタルヘルス ～メンタルヘルスフレンドリーな職場環境を目指して～」 高知大学教職大学院 教授 岡田 倫代
	・新任用教頭研修7と合同実施 (詳細は18ページ) ※受講対象は、校長・副校長・教頭	
19	12月13日(金) 9:30~14:00	「チーム学校の実現に向けて (特別支援教育の理解と学校組織マネジメントの実践)」 特別支援教育士スーパーバイザー 後野 文雄
	・新任用校長研修3と合同実施 (詳細は26ページ)	
20	1月9日(木) 13:15~15:45	「学校組織の機能化・活性化」 兵庫教育大学教職大学院 客員教授 浅野 良一
	・任用2年次教頭研修5と合同実施 (詳細は22ページ)	

# 令和6年度 任用2年次教頭研修 課題解決研修 実施要項

## 1 目的

所属校の教育課題の現状を校長とともに把握したうえで、教頭職として教育課題の解決に向けて取り組むOJTの過程を通して、管理職としての資質向上を図る。

## 2 対象者

任用2年次教頭研修を受講する教頭

## 3 研修方法

- (1) 校長のミッションに基づいて今年度の重点目標を設定し、教頭職として自校の課題解決に取り組んでください。年間の提出物の作成要領等は4のとおりです。
- (2) 課題解決研修に関する取組の見直しや報告を、任用2年次教頭研修1及び5において実施します。

## 4 提出物の作成要領及び提出方法

研修計画書は、5の「課題解決研修における研修計画書の作成等について」に基づき作成してください。

また、提出物（研修計画書・中間報告書・最終報告書）は提出日までに、市町村（学校組合）立学校は校長及び教育長を経由して、県立学校は校長を経由して、管理職・マネジメント研修担当あてに、グループウェア（メッセージ）で提出してください。

なお、様式については高知県教育センターのホームページよりデータをダウンロードしてください。

### 提出物・提出日等一覧

提出物	様式	主な記載事項	提出日
研修計画書	様式① 様式②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の重点目標</li> <li>・内外環境の分析</li> <li>・具体的な取組の柱、評価基準</li> <li>・具体的な取組の内容</li> <li>・組織的な取組の手立て</li> <li>※校長が記入する事項</li> <li>・校長から教頭へのミッション</li> <li>・重点目標及び取組の柱についての意見等</li> </ul>	5月8日(水)
中間報告書	様式③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画と照合した取組の実施状況</li> <li>・中間時点での取組の成果と課題</li> </ul>	12月6日(金)
最終報告書	様式③ 様式④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修計画と照合した取組の実施状況</li> <li>・2月末時点での取組の成果と課題</li> <li>・今年度の重点目標に対する総合評価</li> <li>・教頭としての自分自身の成長と現在の課題</li> <li>※校長が記入する事項</li> <li>・校長所見</li> </ul>	3月14日(金)

## 5 課題解決研修における研修計画書の作成等について

課題解決研修における研修計画書は、下の「各項目の作成に関して」に留意して作成してください。

### ○各項目の作成に関して

#### 様式①について

##### 【教頭へのミッションについて】

3・4年後の目指す児童生徒の姿とその実現のために、校長が教頭に期待することを記述してください。

##### 【今年度の重点目標について】

校長からのミッションを実現するために、教頭が考えた1年間かけて取り組む「今年度の重点目標」を記述してください。学校の教育活動全般にならないように、可能な限り、焦点化、具体化して1つに絞って記述してください。

##### 【今年度の重点目標に関する自校の内外環境の分析について】

今年度の重点目標に関する、自校を取り巻く内外環境の分析を、SWOT分析の手法を参考にして行ってください。

この課題解決研修では「重点目標」を設定したうえで、設定した「重点目標」に特化したSWOT分析を行い、その結果に基づき今年度の具体的な取組の柱を導き出します。

##### 【今年度の重点目標を達成するための具体的な取組の柱について】

自校の内外分析の結果をもとに、40・41ページに記載している記入例を参考にして、「今年度の具体的な取組の柱」を3つ以内に定めて記述してください。

##### 【今年度の重点目標及び具体的な取組の柱についての意見等】

校長が、教頭の考えた「今年度の重点目標」及び「具体的な取組の柱」について、意見等を記述してください。

#### 様式②について

##### 【取組の柱と各取組の評価基準】

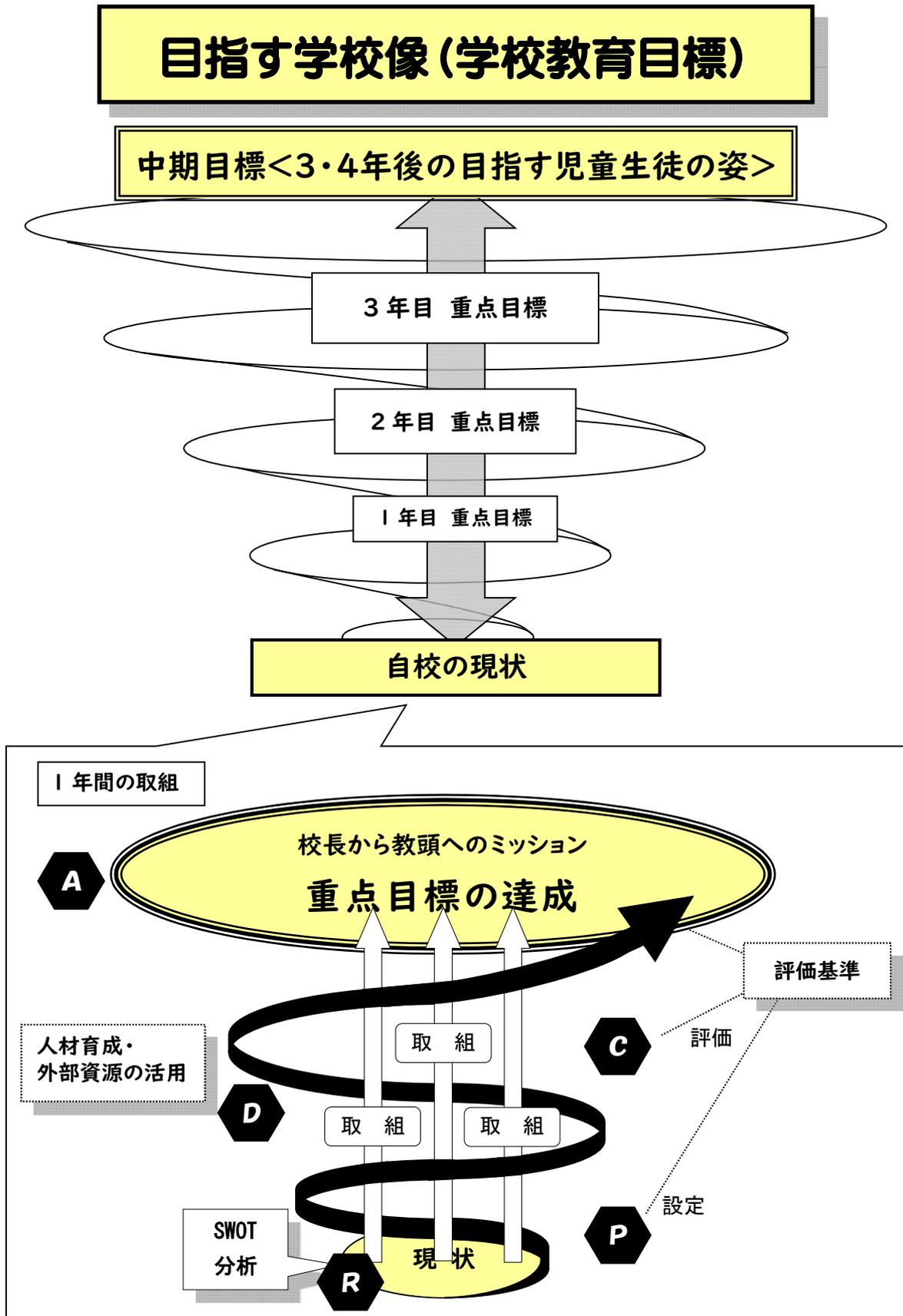
「評価基準」は、取組の状況を把握するためのもの（取組指標）と、取組の成果に着目するためのもの（成果指標）に大別できます。取組指標を設定する場合は、「誰が、何を、いつまでに、どのようにする」というように、取組の状況を把握できるように、具体的に記述してください。また、成果指標を設定する場合は、取組の成果を把握できるように、可能な項目は数値目標を設定してください。数値化が馴染まないと思う場合は、スケジュールなどを物差しとして、予定通り進捗したかどうか「誰が、何をいつまでに、どのような状態にするか」など、表現を工夫してください。

##### 【具体的な取組の内容】

取組の計画や実施形態などを簡潔に、箇条書きで記述してください。必要に応じて時系列で記述してください。

##### 【組織的な取組のための手立て】

取組を組織的なものとするための工夫として、人材育成や外部資源の活用に関する視点を必ず盛り込んでください。



様式①

### 任用2年次教頭研修 課題解決研修 計画書

学校名		校長氏名	
		教頭氏名	

【校長より】 教頭へのミッション	
---------------------	--

今年度の重点目標	
----------	--



今年度の重点目標に関する自校の内外環境の分析			
外 部 環 境	●機会(O): 支援的要因	内 部 環 境	●強み(S)
	●脅威(T): 阻害的要因		●弱み(W)



今年度の重点目標を達成するための具体的な取組の柱 ① ② ③
---

【校長より】今年度の重点目標及び具体的な取組の柱についての意見等
----------------------------------

任用2年次教頭研修 課題解決研修 計画書

学校名		校長氏名	
		教頭氏名	

今年度の重点目標	
----------	--

	取組の柱と 各取組の評価基準	具体的な取組の内容	組織的な取組のための手立て (人材育成・外部資源の活用の視点)
①	(取組の柱) ----- (評価基準)		
②	(取組の柱) ----- (評価基準)		
③	(取組の柱) ----- (評価基準)		

## 任用2年次教頭研修 課題解決研修 中間報告書・最終報告書

学校名	校長氏名
	教頭氏名

今年度の重点目標
----------

取組の柱と 各取組の評価基準	具体的な取組の実施状況	取組の成果と課題
(取組の柱) ① (評価基準)		
(取組の柱) ② (評価基準)		
(取組の柱) ③ (評価基準)		

\* 研修計画に変更があった場合は、計画書(様式①及び様式②)を修正して中間報告書と併せて提出してください。

様式④

### 任用2年次教頭研修 課題解決研修 最終報告書

学校名	校長氏名
	教頭氏名

今年度の重点目標	
----------	--

今年度の重点目標に対する総合評価	
来年度の重点目標	

課題解決研修を通して、教頭としての自分自身の成長と現在の課題

校長所見

\*「校長所見」の欄には、課題解決研修に関する自校教頭の成果、また、課題解決研修を効果的に実施するための課題等、お気付きのことをお書きください。

様式①【記入にあたっての留意点】

## 任用2年次教頭研修 課題解決研修 計画書

学校名	〇〇市立〇〇学校	校長氏名	△△ △△
		教頭氏名	×× ××

<b>【校長より】</b> 教頭へのミッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3・4年後の目指す児童生徒の姿とその実現のために、校長が教頭に期待することを記述する。</li> </ul>
----------------------------	--

今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長からのミッションを実現するために、教頭が考える今年度1年間かけて取り組む重点目標を記述する。</li> <li>・「重点」になるものを焦点化、具体化し、1つに絞って記述する。</li> </ul>
----------	--



<b>今年度の重点目標に関する自校の内外環境の分析</b>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>●機会(O): 支援的要因</p> <p style="text-align: center;">外部環境</p> <p>●脅威(T): 阻害的要因</p> <p style="text-align: center;">内部環境</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>●強み(S):</p> <p style="text-align: center;">外部環境</p> <p>●弱み(W)</p> <p style="text-align: center;">内部環境</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px; border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>・外部環境のうち、将来の自校にとって影響を及ぼすと思われる要因を整理して書く(職場として好ましいものは「機会」好ましくないものは、「脅威」の欄に記述)。</p> <p>・箇条書きで表現する。</p> <p>・自校、または校区(地域)ならではの事柄を記述する。</p> <p>【学校の外部環境の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域、関係機関、他校</li> <li>・社会情勢、自然環境、科学技術の変化等。</li> </ul> </div> <div style="margin-top: 20px; border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>・自校の内部環境の状況を「強み」と「弱み」に整理して記述する。</p> <p>【学校の内部環境の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒューマンウェア 人や組織。児童生徒や職員等。</li> <li>・ハードウェア ものやお金に関するもの。校舎等の施設や学校予算等。</li> <li>・ソフトウェア システムやノウハウ。職員会議や校務分掌などのシステム、教科指導や進路指導又は学校の組織風土等。</li> </ul> </div>	



今年度の重点目標を達成するための具体的な取組の柱	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>今年度の重点目標に関する自校の内外環境の分析をもとに、考えられる様々な取組の中から3つ以内に定めて記述する。</p> </div>
--------------------------	---

<b>【校長より】今年度の重点目標及び具体的な取組の柱についての意見等</b>	<p>教頭が考えた「今年度の重点目標」及び、「具体的な取組の柱」についての校長の意見等を記述する。</p>
---	---

任用2年次教頭研修 課題解決研修 計画書

学校名	〇〇市立〇〇小学校	校長氏名	△△ △△
		教頭氏名	×× ××

【校長より】 教頭へのミッション	安心・安全な学校づくりを推進したい。特に子どもたちがさまざまな課題を自分のこととして捉えることが大切であると思っている。そのために、教頭には、教職員のリーダーとして組織づくりを進めるとともに、地域や保護者など外部との連携を図ってもらいたい。
---------------------	--

今年度の重点目標	防災に強い学校の基礎づくりと児童の防災意識の向上
----------	--------------------------



今年度の重点目標に関する自校の内外環境の分析	
外部環境	<p>●機会(O): 支援的要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の自主防災組織が盛んで、地域一斉の防災訓練も毎年見直しされ、参加者も多い。</li> <li>・役場の防災担当が、学校現場に対して協力しようとする意識が高い。</li> <li>・お年寄りが多く、ボランティア活動(交通安全指導やスクールガード)等に取り組んで、児童を見守ってくれている。</li> </ul>
	<p>●脅威(T): 阻害的要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波、土砂崩れが起こりやすい地形であり、整備が十分進んでいない。</li> <li>・共働きの家庭が多く、地域行事、講演会や防災訓練への参加は年々減少している。</li> <li>・通学路に、危険な箇所がいくつかあり、事件や事故が毎年数件発生している。</li> <li>・学校安全ボランティアの高齢化が進んでいる。</li> </ul>
内部環境	<p>●強み(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、PTA、地域との連携ができており、話し合いの機会も多い。</li> <li>・学校安全に対して意識の高い養護教諭が存在する。</li> <li>・ICTに強い教員が存在する。</li> <li>・上級生の児童は面倒見が良く、集団登下校等でもリーダー性を発揮できる者が多く存在する。</li> </ul>
	<p>●弱み(W)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校防災マニュアル・学校における避難所運営の留意事項等が、教職員に周知徹底されていない。</li> <li>・安全管理については、学校安全担当者任せになっている。</li> <li>・低学年児童の交通のきまりや学校生活のきまりを守ろうとする意識がこの数年で低くなり、事故、けがの発生率が高い。</li> <li>・学校施設のバリアフリー化が整っていない。</li> </ul>



<p>今年度の重点目標を達成するための具体的な取組の柱</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 防災の専門的な知識と組織マネジメント力を備えた教職員の育成</li> <li>② 児童を巻き込んだ学校防災マニュアルの改訂と周知徹底</li> <li>③ 防災の実践力が高まる避難訓練の実施</li> </ol>
---

【校長より】今年度の重点目標及び具体的な取組の柱についての意見等
----------------------------------

様式②【記入例と記入にあたっての留意点】

任用2年次教頭研修 課題解決研修 計画書

学校名	〇〇市立〇〇小学校	校長氏名	△△ △△
		教頭氏名	×× ××

今年度の重点目標	「防災に強い学校の基礎づくりと児童の防災意識の向上」
----------	----------------------------

取組の柱と各取組の評価基準	具体的な取組の内容	組織的な取組のための手立て (人材育成・外部資源の活用の視点)
<p>(取組の柱) 防災の専門的な知識と組織マネジメント力を備えた教職員の育成</p> <p>取組の柱①を転記する。</p> <p>(評価基準) ○防災アンケート(4件法) ① 防災教育の充実 教師 3.5p以上 児童 3.5p以上</p> <p>取組の状況を把握できるように、取組指標もしくは成果指標を設定する。</p>	<p>1 防災教育推進チームの設置 ○多様性を生かした構成メンバー ・生活・安全部長を中心に、若年教諭、中堅教諭、事務職員、養護教諭、教頭で構成。 ○活動内容 ・防災アンケートの作成、実施、分析。 ・講師招聘研修の企画、運営。 ・先進校視察の企画。 ・地域の防災関係者との連携。</p> <p>2 講師招聘研修の実施 ・テーマ「災害を恐れない学校づくり」 ・年間3回(8・10・1月)実施。 ・防災教育の基礎・基本を専門家から、地元の災害については地域の人から学ぶ。</p> <p>3 地域の防災学習の教材化 ・各学年がチームとなって、地域の実態に即した防災学習の教材化を図り、指導内容を検討する。 ・体験的、問題解決的な授業づくりを進める。</p> <p>・取組の計画や実施形態などを簡潔に、箇条書きで、必要に応じて時系列で記述する。 ・誰が行うのかが分かるように記述する。</p>	<p>○年度当初の職員会で、防災教育推進チームの趣旨を説明する。</p> <p>○生活・安全部長に、推進チームの会の招集、運営、進行役を任せる。推進チーム会は月ごとに行い、取組の情報共有を行う。教頭は、推進チーム会の前に、生活・安全部長と進捗確認を行う。</p> <p>○養護教諭と事務職員を、講師招聘研修、先進校視察の渉外係とする。生活・安全部長及び教頭は、渉外係が、6月末までに研修講師及び視察対象校との連絡調整等を行えるように、支援を行う。</p> <p>○推進チームの若年教諭、中堅教諭2名が、先進校視察や役場の防災担当との連携を通して、先進校の取組や地域の人材等に関する情報を収集し、各学年団に提供する。</p> <p>・取組を実施するにあたって、教職員の誰に何を任せるか、協力してもらう外部機関、関係者は誰か等、活用できる資源を洗い出し、整理する。</p>
<p>(取組の柱)</p> <p>② (評価基準)</p>		
<p>(取組の柱)</p> <p>③ (評価基準)</p>		

# 学校を取り巻く環境分析と対策の検討(SWOT分析)

## 【SWOT(スウォット)分析とは】

→ SWOT分析とは、組織マネジメントにおけるマーケティング手法の一つ

### ① 内部環境

- ・強み(Strength)                   ..... 内部環境(状況)の強み
- ・弱み(Weakness)               ..... 内部環境(状況)の弱み

### ② 外部環境

- ・機会(Opportunity)           ..... 外部環境が支援的に働く場面
- ・脅威(Threat)                 ..... 外部環境が阻害的に働く場面

## 【SWOT分析の一般的な進め方】

- ① 機会の探索
- ② 機会と合致した強みの抽出
- ③ 強みの積極的活用
- ④ 弱みを強みに転換(プラス思考)
- ⑤ 弱みの改善・強化
- ⑥ 脅威に対する対応策の検討
- ⑦ 成功要因の明確化

## 【SWOT分析で具体的取組を考える際のヒント】

SWOT分析の活用の仕方(戦略的アイデアの抽出)				
◎重点努力事項 ○年度努力事項		内部環境		
		+ (プラス)	- (マイナス)	
		強み(S)	弱み(W)	
外部環境	+ (プラス)	機会(O)	<p><u>○さらに何ができるか</u></p> <p>◇Oを生かしてSを発揮する。 ◇Oを生かしてSを強化する。</p> <p>「強み」で「機会」を取り込むために実施すべきことは何か？</p>	<p><u>○どのように補強していくか</u></p> <p>◇Oを生かしWを強みに変える。</p> <p>「機会」の力を借りて「弱み」を転換するために実施すべきことは何か？</p>
		脅威(T)	<p><u>○どのようにかわすか</u></p> <p>◇TにはSで対応する。</p> <p>「強み」で「脅威」を回避するために実施すべきことは何か？</p>	<p><u>○最悪の事態をどのように避けるか</u></p> <p>◇TとWの鉢合わせを防ぐ。</p> <p>「脅威」の回避に「弱み」が影響を及ぼさないように実施すべきことは何か？</p>
	- (マイナス)	機会(O)		
		脅威(T)		

# SWOT分析 (A校の事例)

A校の場合、学校が直接コントロールできるものを「内部条件」とし、コントロールできないものを「外部条件」と捉えている。

◎重点努力事項 ○年度努力事項		コントロールできる内部条件	
◎学力の向上	◎教員の指導力向上	強み(S) +(プラス)	弱み(W) -(マイナス)
○学力の向上	○教員の指導力向上	1:指導力のある教員が複数いる 2:教職員の年齢構成がよい 3:教職員の仲がよい 4:空き教室が多い	1:指導力に格差がある 2:教材が少ない 3:授業時間の確保ができていない教科・領域がある
コントロールできない外部条件			
機会(O) +	脅威(T) -	1:研究指定校の制度を利用し、予算を確保し、指導力のある教員を中核に据えることで、全体の指導力の向上を図る。 2:協力的な保護者や地域住民を、ボランティアアティーチャーとして活用を図る。	1:少人数指導教員を、指導力に課題がある教員と組ませてITを実施することで、その教員の指導力の向上を図る。 2:計画的な研究実践で、教材・教員の開発を行う。
1:少人数指導教員が加配されている 2:研究指定を受けている 3:協力的な保護者や地域住民がいる	1:学級の児童数に差がある 2:家庭の状況に格差がある 3:苦情を訴える特定の保護者がいる	1:児童数が多い学級は、空き教室を有効に活用させる。 2:対応が難しい保護者には、人間関係のよさを生かして複数教員で対応する。	1:1学級あたりの人数が多い学年の学級担任は、指導力のある教員を配置する。 2:週案の提出等で、授業時数の管理を図る。 3:個に応じた指導の充実を図る。

T-Wは、リスクマネジメントの領域

## 高知県教育センター研修参加者旅費コード一覧

### <市町村(学校組合)立学校>

事業名	款・項・目	略科目	補足コード
新任用指導教諭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400	3062
任用2年次指導教諭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400	
新任用主幹教諭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400	
任用2年次主幹教諭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400	
新任用教頭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400	3061
任用2年次教頭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400	
新任用副校長研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400	3062
新任用校長研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400	

### <県立学校(高知商業高等学校定時制を含む)>

事業名	款・項・目	略科目
新任用指導教諭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400
任用2年次指導教諭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400
新任用主幹教諭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400
任用2年次主幹教諭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400
新任用教頭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400
任用2年次教頭研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400
新任用副校長研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400
新任用校長研修	13教育費 1教育総務費 6教育センター費	408-0400

## 欠席届等 [参考様式]

〇〇〇第〇〇号  
令和〇年〇月〇日

高知県教育センター所長 様

〇〇市町村（学校組合）教育長

### 副 申 書

当市町村（学校組合）所管の〇〇学校 職名 氏名の「令和〇年度（研修名）」  
に関する欠席は、別紙のように、やむを得ない理由によるものと認めます。  
つきましては、欠席についてのご配慮をお願いします。

[参考様式]

〇〇〇第〇〇号  
令和〇年〇月〇日

〇〇市町村（学校組合）教育長 様

〇〇市町村（学校組合）立〇〇学校  
校長 氏名

研修の欠席届

下記により、研修を欠席させていただきたいので、よろしくお願ひします。

記

- 1 研修の名称 令和〇年度〇〇〇〇研修
- 2 欠席者の氏名 〇〇学校 職名 氏名
- 3 欠席する日時 〇〇月〇〇日（曜日）（午前・午後・1日）
- 4 欠席理由

[参考様式]

〇〇〇第〇〇号  
令和〇年〇月〇日

高知県教育センター所長 様

高知県立〇〇〇学校  
校長 氏名

研修の欠席届

下記により、研修を欠席させていただきたいので、よろしく申し上げます。

記

- 1 研修の名称 令和〇年度〇〇〇〇研修
- 2 欠席者の氏名 〇〇学校 職名 氏名
- 3 欠席する日時 〇〇月〇〇日（曜日）（午前・午後・1日）
- 4 欠席理由

## 教育センターの利用について

### ★避難経路

- ◇3F大研修室 … 研修室北面の中ほどの非常階段、東階段、又はテラスの救助袋
- ◇3F各研修室 … 東西の階段、又はテラスの救助袋
- ◇2F各研修室 … 東西の階段
- ◇2F図書館・教科研究センター … 北側の中ほどの非常階段、又は東階段
- ◇1F各研修室 … 出口は、5か所（正面（西端）・西階段北・西階段南・東階段南・東端）

※緊急地震速報が発報されたとき

- ・揺れに備えてください。
- 揺れが収まったら避難準備をしてください。
- ・避難時は、教育センター職員の指示に従ってください。

＜避難場所＞

教育センター4階屋上、教育センター北側の高台

※教育センターは高知市の津波避難ビルに指定されています。



高知市津波避難マップ「大津小学校区」  
第2版(令和元年12月)より

### ★AEDの設置場所

- ・正面玄関ホール及び3階大研修室に、1機ずつ設置しています。

### ★研修中

- ・所属等からの緊急連絡は、教育センター（088-866-3890）へお願いします。
- ・携帯電話等は、電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ・ペットボトルや水筒等は、鞆等に収納してください。
- ・消しゴムかすは、研修室内の指定された所（箱）に捨ててください。

### ★情報端末及び記録媒体

- ・公用、私用を問わず、以下の留意点を踏まえたうえで、原則、使用可能です。

＜留意点＞

- ①公用の情報端末は、管理職の持出許可がある場合に限りです。
- ②録音、動画・静止画の撮影、資料の複写は、講師の許可がある場合のみ可能です。
- ③情報漏洩等、情報モラルについて厳守してください。

### ★昼食

- ・ご利用の研修室（自席）を使用してください。空き箱等はお持ち帰りください。

### ★自家用車等の利用

- ・出入りの際は、正門手前で、必ず一時停止し、左右確認をお願いします。
- ・正門から電車通りまでは、徐行運転で一般の方を優先してください。  
また、一時停止場所が数か所あります。停止ラインで必ず停車して左右の確認をしてください。  
電車通りへの進入時も十分、注意してください。
- ・正門入って右側10 枠は、他施設職員駐車場につき駐車できません。
- ・駐車場ではアイドリングストップにご協力ください。

### ★トイレ

- ・女性用：1F東、1F中央付近、2F西、3F東
- ・男性用：1F西、2F東、3F西
- ・多目的：1F中央付近

### ★その他

- ・教育センター研修に参加する際の留意点については、教育センターHPや実施要項等をご確認ください。
- ・アンケートを配付している場合は、お帰りの際に会場出口の回収BOXにお入れください。
- ・自動販売機：1F西階段下から屋外へ出たところにあります。
- ・敷地内禁煙です。



## 研修で 県立中芸高等学校（特別教室棟 2 F 視聴覚室）を利用される皆さまへ

### ★避難経路

※緊急地震速報が発報されたとき

- ・揺れに備えてください。揺れが収まったら研修室正面の避難口からグラウンドに避難してください。
- ・避難口から避難できない場合、入り口を出て東階段もしくは西階段から避難してください。

※中芸高校は、田野町の地震・津波の避難場所です。

### ★AEDの設置場所

- ・1階玄関、3階東端、体育館に、1機ずつ設置されています。

### ★休憩や校内の経路

- ・休憩時間やお帰りの際は、授業時間と重なることが多いので、ご配慮ください。
- ・研修室から玄関までは、研修室直近の東階段を使用してください。

### ★トイレ

- ・2 F 中央（昼間部職員室前廊下を通り、校舎中程）をできるだけ利用してください。
- ・混雑する場合は、階段を上がって3 F 図書室前のトイレを利用ください。

### ★研修中

- ・所属等からの緊急連絡は、教育センター（平日 088-866-3890）へお願いします。
- ・携帯電話等は、電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ・ペットボトルや水筒等は、鞆等に収納してください。
- ・消しゴムかすは、研修室内の指定された所（箱）に捨ててください。

### ★情報端末及び記録媒体

- ・公用、私用を問わず、以下の留意点を踏まえたうえで、原則、使用可能です。
- ・ただし、校内の有線LAN及び無線LANへの接続はできません。

<留意点>

- ①公用の情報端末は、管理職の持出許可がある場合に限りです。
- ②録音、動画・静止画の撮影、資料の複写は、講師の許可がある場合のみ可能です。
- ③情報漏洩等、情報モラルについて厳守してください。

### ★自家用車等の利用

- ・校内の交通は、生徒を最優先とし、安全確保のため徐行運転をお願いします。
- ・県道から学校までの通路（坂道）は、スクールバスとのすれ違いが難しいため、坂道・学校敷地へは朝は9:00以降に進入、夕方は16:00以降の利用をお願いします。
- ・お帰りの際、正門手前及び道路手前で必ず一時停止し安全確認をお願いします。
- ・車は、グラウンド内東側にお停めください。
- ・事前に駐車位置をお知らせしている場合は、所定の場所に駐車してください。

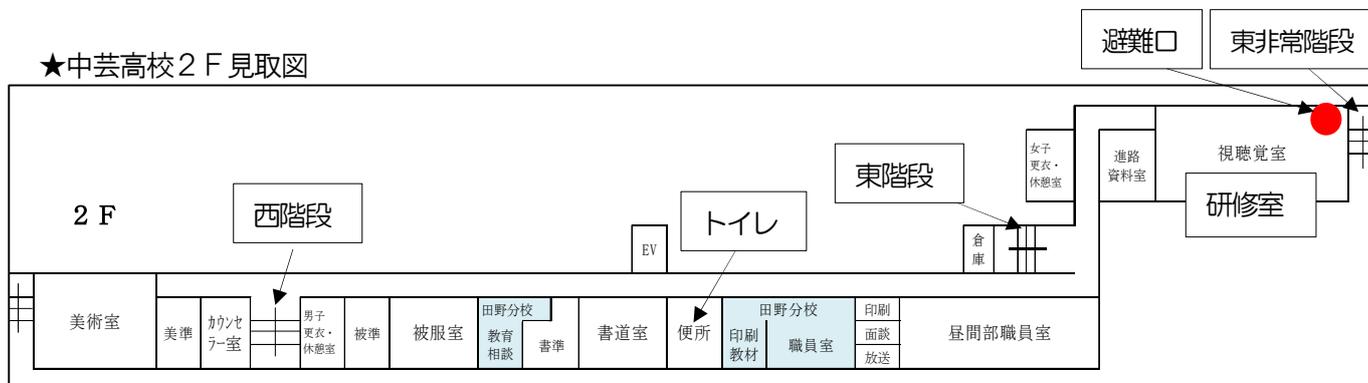
### ★昼食

- ・本研修室（自席）を使用してください。空き箱等はお持ち帰りください。

### ★その他

- ・教育センター研修に参加する際の留意点については、教育センターHPや実施要項等をご確認ください。
- ・アンケートを配付している場合は、お帰りの際に出口の回収BOXにお入れください。
- ・敷地内禁煙です。

### ★中芸高校2 F 見取図



## 研修で 県立大方高等学校（北棟3F TV会議室）を利用される皆さまへ

### ★避難経路

◇本研修室前の階段

※緊急地震速報が発報されたとき

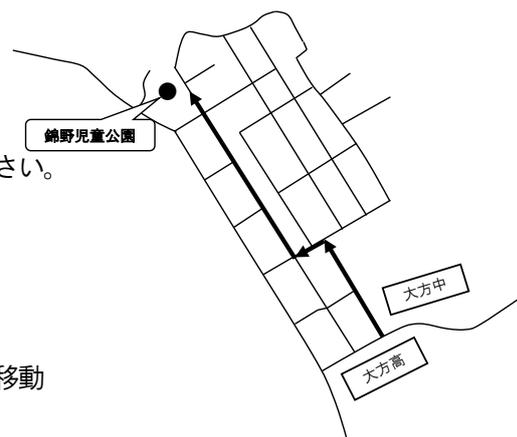
- ・揺れに備えてください。揺れが収まったら避難準備をしてください。
- ・大方高校は、津波避難場所（避難高台）になっています。

※津波警報が発令されたとき

- ・体育館北側広場へ避難

※大津波警報が発令されたとき

- ・敷地内で危険な場合は、錦野児童公園（本研修室の北方向）へ移動
- ・避難経路は、本研修室後方の掲示物で確認してください。



### ★AEDの設置場所

- ・南舎玄関ホール（運動場側）と、体育館2Fアリーナ入口に、1機ずつ設置されています。

### ★休憩や校内の通路

- ・休憩時間やお帰りの際は、授業時間と重なることが多いので、ご配慮ください。
- ・研修室から玄関までは、北舎階段を使用し、1階の渡り廊下を通して玄関までお願いします。

### ★トイレ

- ・本研修室前にあります。できるだけ北舎のトイレを利用してください。

### ★研修中

- ・所属等からの緊急連絡は、教育センター（平日088-866-3890）へお願いします。
- ・携帯電話等は、電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ・ペットボトルや水筒等は、鞆等に収納してください。
- ・消しゴムかすは、研修室内の指定された所（箱）に捨ててください。

### ★情報端末及び記録媒体

- ・公用、私用を問わず、以下の留意点を踏まえたうえで、原則、使用可能です。ただし、校内の有線LAN及び無線LANへの接続はできません。
- <留意点>
- ①公用の情報端末は、管理職の持出許可がある場合に限りです。
  - ②録音、動画・静止画の撮影、資料の複写は、講師の許可がある場合のみ可能です。
  - ③情報漏洩等、情報モラルについて厳守してください。

### ★自家用車等を利用されるとき

- ・校内の交通は、生徒を最優先とし、安全確保のため徐行運転をお願いします。
- ・お帰りの際、正門手前及び道路手前で必ず一時停止し安全確認をお願いします。
- ・車は、正門から入り、南舎南側の空いている駐車スペースにお停めください。事前に駐車位置をお知らせしている場合は、所定の場所に駐車してください。

### ★昼食

- ・本研修室（自席）を使用してください。空き箱等はお持ち帰りください。

### ★その他

- ・教育センター研修に参加する際の留意点については、教育センターHPや実施要項等をご確認ください。
- ・アンケートを配付している場合は、お帰りの際に出口の回収BOXにお入れください。
- ・敷地内禁煙です。



